

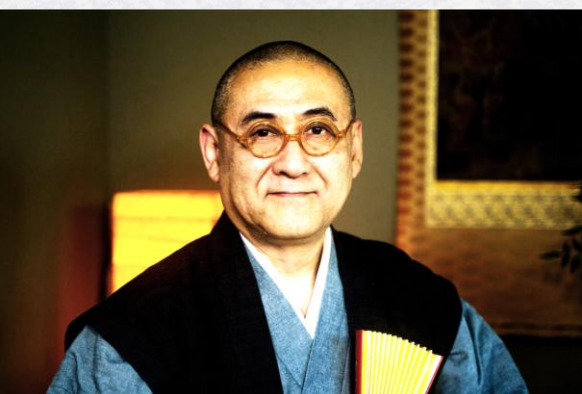
人間学研究センター講演会

令和7年12月20日(土)14:30~16:00
仙台白百合女子大学1号館124室

『日本人の心を情操する“和食”』

～私たちが米を食べる意義について～

講師 土藏 利生 氏



【講師プロフィール】

小日向村総鎮守氷川明神 別當
曹洞宗慈照山日輪寺 山主住職
曹洞宗梅溪山靈祥寺 住職兼務（福井県大野市）
寺子屋『禪創恵生塾』代表
JU「日本學ユニバーシティ」教授
新嘗祭祝日化運動 特別顧問

【講師からのメッセージ】

「食を正せば、自ずと生活は正される」と、道元禅師は残されました。この言葉の真意を理解する事ができれば、人が人として正しく生きる道に気付くことができるでしょう。日々日常の生活の中に、様々な学びを見つけ、正しく身に付ける事で、人として心豊かに人生を送る事が出来ます。「食を正す」ためには、日本語の本来の意味を知り、今日まで残されている優れた言葉を学び、日々の生活の中に作法を整える事が大切です。その先に見えてくる我が国の普遍の真理。そこに「和の心」が身につくのです。知識と知恵を「智識」と「智慧」に変換し、正しい判断のできるようになりましょう。

参加申し込みは不要

12月20日当日は、14:00より入校可能

問い合わせ：仙台白百合女子大学 人間学研究センター

仙台市泉区本田町6-1 TEL 022-372-3254(代表)